

1

企業の環境活動の情報を発信する方法

工場や事業所(工場等)が環境対策などの企業の環境活動の情報を発信する方法として、10項目を挙げてご紹介します。

方法によって、長所や短所、難易度や作業量が異なります。

本ガイドブックを参考に、自社で取組可能な方法を見つけて情報発信を進めていきましょう。

情報を発信するにあたっての共通のポイント

(1) 分かり易い表現を使用する

専門用語や難解な表現は、理解してもらえないほか、ごまかしているようにも見えてしまいます。

(2) グラフや写真などを使用し、目で見えてわかるように工夫する

数字や文章だけよりも多くの情報が伝わり、より理解が深まります。

(3) データだけでなく、企業の考え方(目標、対策、今後の取組方針など)も盛り込む

企業の環境問題に対する考え方を知ることが、安心材料となります。

1 環境報告書の作成・配布

～情報のまとめは 発信の第一歩です～

長 所

- 工場等の環境活動が全てまとめられているため、地域の皆さんは知りたい情報を一度に得られる。
- ホームページを閲覧できる環境がない、外出が難しい(工場見学などに参加できない等)などの方も、情報を入手できる。
- 作成作業を通じて、自社の環境への取組を定期的に見直すため、従業員の環境意識を高めることができる。



短 所

- 環境活動に関する各種データを収集しまとめるため、作成にかなりの労力が必要となる。
- 事業規模が大きい場合、環境報告書の情報量も多くなるため、各工場等の情報が分かりづらくなることも。

作成のポイント

- まず、他の事業所の環境報告書を参考に、自社の取組をまとめてみましょう。⇒ **参考2 P5**
- まとめた内容を基に、要点をピックアップした環境報告書の簡易版を作成してみましょう。
- 社内向け → 取引先へ → 地域へ と少しずつ対象を広げていくのも◎。
- 本社や親会社で環境報告書を作成している場合は、各工場等の情報を抜粋したダイジェスト版冊子(サイトレポート)を作成し添付すると◎。

参考2 環境報告書が多数掲載されているWebサイト

～6,000冊以上の環境報告書を収録 業種や事業規模などからの検索も可能～

①環境報告書プラザ(経済産業省HP内)

環境報告書作成のためのお役立ち情報も充実しています。

<http://www.ecosearch.jp/>



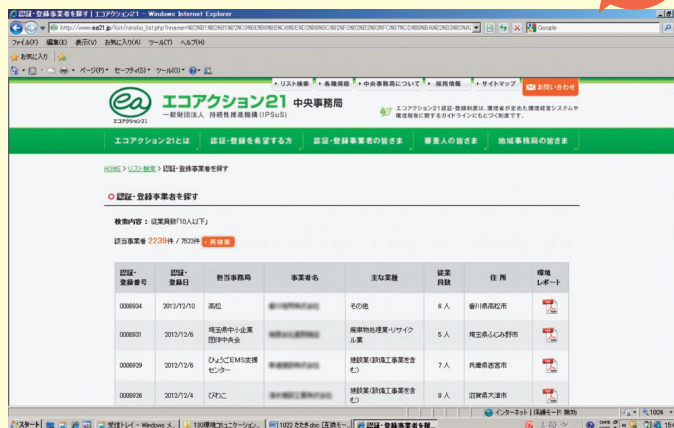
～規模の小さな事業所でも作成可能な環境報告書(環境活動レポート)を多数掲載～

②エコアクション21 中央事務局(一般財団法人 持続性推進機構HP内)

エコアクション21では、中小事業者でも取り組みやすい環境経営の仕組み(環境経営システム)のあり方を定めています。

『リスト検索>認証・登録事業者を探す』では、登録事業所の環境報告書(サイト内での表現は「環境活動レポート」)を閲覧でき、事業者名・業種・従業員数などで検索・抽出できます。

http://www.ea21.jp/list/ninsho_search.php



～環境報告書に関する様々な情報を網羅～

③「もっと知りたい環境報告書」(環境省HP内)

環境報告書とは何か、環境報告書の作り方など、環境報告書の基礎から応用まで情報が詳しく掲載されています。

<http://www.env.go.jp/policy/envreport/index.html>

環境配慮促進法や環境報告書作成ガイドラインなども掲載されています。

- ・環境配慮促進法 http://www.env.go.jp/policy/hairyo_law/
- ・環境報告書作成ガイドライン <http://www.env.go.jp/policy/report/h19-02/>

～環境報告書の優良事例と優良ポイントを掲載～

④環境コミュニケーション大賞(財団法人 地球・人間環境フォーラムHP内)

環境省と財団法人地球・人間環境フォーラムが主催の表彰制度です。

「環境報告書部門」「環境活動レポート部門」「テレビ環境CM部門」の3部門あり、受賞一覧が掲載されています(実際の環境報告書は掲載されていません)。

表彰式のパンフレットには、受賞作品の講評(優良ポイント)の記載もあります。

<http://www.gef.or.jp/eco-com/>



参考3 環境報告書の記載事項の概要

～環境省HP「もっと知りたい環境報告書」より～

環境報告書について定めている「環境配慮促進法^{*3}」では、環境報告書に最低限必要と考えられる内容として、次のような項が挙げられています。

■ 事業活動に係る環境配慮についての方針や基本理念、事業者(代表者)の認識や見解

事業者の認識や見解は、単なる挨拶ではなく、事業活動における環境配慮の取組状況に関する総括と社会に対しての誓約となっていることが必要です。

■ 主要な事業内容、報告の対象とする事業年度等

会社概要や従業員数、次回の発行予定なども記載します。

■ 事業活動に係る環境配慮についての具体的な目標や行動計画

実績や環境負荷の状況も含めて一覧表等に取りまとめて記載します。

■ 事業活動に係る環境配慮の取組の体制等

目標達成のために実施した取組の体制や運営方法を記載します。

■ 事業活動に係る環境配慮の取組の状況等

目標達成のために実施した取組の状況や実績、重要な環境負荷の状況(数値を含む)を可能であれば一覧表で記載します。

■ 製品等に係る環境配慮の情報

環境への負荷の低減に資する製品やサービスの情報を記載します。

■ その他

環境関連法規制への対応、利用者等との意見交換等の概要を記載します。

※3 環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律

全ての事業者がこの内容で作成しなければならないというものではありません。可能な部分から段階的にまとめ、作成してみましょう。

2 ホームページへの掲載

長所

- 地域の皆さんを始め、多くの方に広く情報を発信することができる。
- 情報の追加や更新が容易にできる。
- 既にホームページを作成している場合には、環境関連の情報を追加するだけでよい。



短所

- 閲覧者がアクセスしないと情報が得られないため、情報の発信が受け身的になってしまう。また、パソコンなどホームページを閲覧できる環境を持たない方は情報が得られない。
- 情報のやり取りが一方通行になりやすい。
- まだホームページを作成していない場合は、ゼロから作成しなければならない。

掲載のポイント

- 活動の様子が分かる写真を併せて掲載すると、より理解が深まります。
- 地域貢献活動の様子も併せて掲載すると良いPRになります。
- 既に親会社のホームページに環境活動の情報が掲載されている場合は、そのページにリンクを貼って閲覧できるようにすることから始めてもよいでしょう。

～掲載する内容の例～

- ・事業概要、会社の沿革(ISO14001取得など環境への取組も含めると○)、主要生産品など
- ・環境方針、行動方針、環境配慮の取組内容(計画、目標、達成状況)など
- ・取り組んでいる具体的な環境活動
- ・環境報告書など環境活動をまとめた冊子の掲載(作成していれば)
- ・地域貢献の活動

更にバージョンアップを！

- ・環境報告書は各工場等の分を抜粋したものも掲載(サイトレポートなど)
- ・よくある質問や、意見・感想・質問などの受付窓口を掲載

⇒ **ホームページ 掲載例** P14

3 工場見学会の開催 ～「百聞は一見にしかず」です～

長所

- 工場等の中を実際に見ることにより、地域の皆さんの操業に対する理解が深まり、漠然とした不安が解消される。
- 地域の皆さんは気軽な気持ちで参加でき、工場等の側もあまり構えなくてよい。
- 外部の目を意識して見学コースや場内の事前点検を行うことになり、作業環境等を見直すきっかけにもなる。
- 工場等の製品(サービス)のPRもできる。

短所

- 研究開発を行っていたり、特殊生産技術を有する場合などは、企業秘密保持のための対策を講じる必要がある。
- 外部の方が見学できるような場所の確保が難しい場合もある。

実施のポイント

- 初めて実施する場合は、開催のきっかけをつくとよいでしょう。

きっかけの例

新しい設備を導入した時
工場見学ブームに乗って
新製品のお披露目を兼ねて

設備を改善した時
地域の祭りと同時に開催

工場の操業○周年
ISO認証取得を機に

- 多くの方の来場に不安を感じる場合は、まず従業員の家族やOB、地域自治会の役員の方などを対象とした小規模な見学会を開催してみるとよいでしょう。
(地域自治会の窓口が分からない場合には、地元市町村の市民活動担当課等に相談してみましょう)
- 休日や祝日に操業している場合は、その日に開催すると”来場者は休暇で参加しやすい”、”工場側は従業員の負担なく設備を稼働できる”等のメリットがあります。
- 環境対策や取組内容のパネルなどの掲示を併せて行うと○。
- 来場者にアンケートで工場に対する意見を伺い、設備改善などの企業活動に反映させるほか、対応後に報告を兼ねて環境コミュニケーション(意見交換会)の実施に繋がれると、更に○。

⇒ アンケート 作成例 P18

見学時には・・・

- 見学コースの設定などにあたっては、来場者の安全面や体力面等に配慮しましょう。
高齢者の参加者が多い場合、高所への階段移動や場内の遠距離歩行は負担が大きいため避けの方がよいこともあります(事前に参加者に見学可能か確認する、写真スライドで紹介する、遠い施設へは車で移動する、などの対応を検討するとよい)。
- 見学ルートは、生産の流れに沿って行うと理解が深まります。
- 見学時は騒音で説明が聞き取りづらいので、拡声器やイヤホンマイクなどを用意しましょう。
- 参加人数が多い時は複数班に分けて行いましょう。
- 説明者のほかに数名の従業員が同行すると、見学途中で質問をし易いので○。
- 見学時は運転ラインの調整(見学時にタイミング良く設備を動かす、見学時は作業を止める等)なども必要となるため、当日の作業計画など現場とよく連絡・調整を行いましょう。

当日の流れ(例)

参加者集合



工場側あいさつ



工場の概要説明
(事業内容、沿革、主要生産品、環境対策など)



工場見学



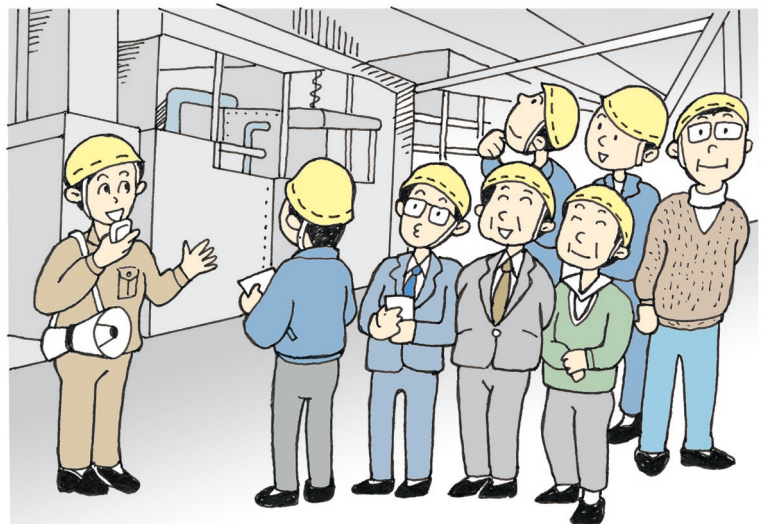
質疑応答



アンケート



解 散



⇒ 案内文書 作成例 P17